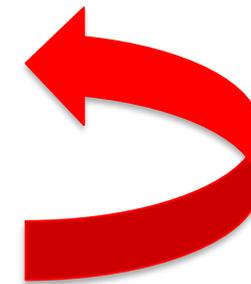


会長の全国自転車交通安全行脚

～80歳 2,000km ひとり旅～



日本自転車普及協会 自転車交通安全啓発イベントについて



一般財団法人

日本自転車普及協会

Bicycling Popularization Association of Japan

一般財団法人 日本自転車普及協会

2024.9.1

2020年に蔓延した新型コロナウイルスにより、「自転車」が電車やバスの利用を避けた感染防止の最適な通勤・通学手段として再注目を集めました。テレビやSNSなどでの取り上げにより、自転車利用者は急増しました。

さらに、パンデミック中の『Uber Eats』のようなデリバリーサービスの普及も相まって、電動自転車や電動スクーター、モペットなどの新しいモビリティの需要が高まりました。しかし同時に、違法車両の使用や暴走運転、道路交通法違反なども目立つようになり、重大な事故の増加につながっています。

こうした状況を受け、2023年には道路交通法が改正され、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されました。さらに2026年春には、自転車の交通違反に対する青切符制度の導入が決定いたしました。

そこで今回、本会では警察庁と連携し、「青切符制度開始」に向けた全国自転車交通安全啓発活動を進めて参ります。本会会長の小泉が中心となり、全国47都道府県を巡りながら自転車の交通安全を啓発していく予定です。

このプロジェクトが、自転車業界の未来にとって必要かつ有意義なイベントになっていくことを期待しております。

企画名：『会長の全国自転車交通安全行脚』

企画内容：2025年10月6日に80歳を迎える本会会長の小泉が、全国47都道府県をそれぞれフルマラソン以上の距離（42.195km）を自転車で走破する挑戦を行います。この自転車ひとり旅を通じて、自転車の交通安全と自転車旅の素晴らしさを啓発しつつ、合計2,000kmを走り抜きます。

小泉昭男：昭和20年10月6日生まれ（79歳）

プロフィール：

昭和 62 年 4 月 川崎市議会議員

平成 11 年 5 月 川崎市議会議長

平成 13 年 5 月 全国市議会議長会会長

平成 16 年 7 月 参議院議員

平成 19 年 8 月 財務大臣政務官

平成 22 年 10 月 参議院国土交通委員会委員長

平成 26 年 9 月 農林水産副大臣

平成 28 年 1 月 参議院決算審査特別委員会委員長

令和 4 年 6 月 一般財団法人日本自転車普及協会 会長

現在に至る



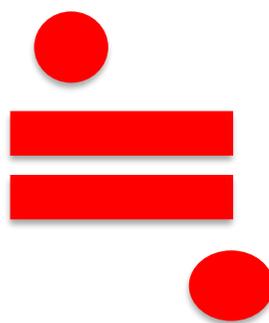
2025年10月6日に
80歳を迎えます！！

企画名：『会長の全国自転車交通安全行脚』～80歳 2,000km ひとり旅～

2025年10月6日に80歳を迎える本会会長の小泉が、全国47都道府県をそれぞれフルマラソン以上の距離（42.195km）を自転車で走破する挑戦を行います。この自転車ひとり旅を通じて、自転車の交通安全と自転車旅の素晴らしさを啓発しつつ、合計約2,000kmを走り抜きます。この距離は、北海道最北端の宗谷岬から九州最南端の佐多岬を結ぶ直線距離にほぼ匹敵します。



各都道府県
42.195km走破



北海道最北端の宗谷岬から九州最南端の佐多岬を結ぶ直線距離にほぼ匹敵し、自転車での日本縦断といっても過言ではありません。

本企画の目的

- 「自転車青切符制度開始」に向けた**全国自転車交通安全啓発**を自転車界を代表して展開する
- 「サイクルツーリズム推進事業」の一環として「自転車旅の楽しさ」を PR していく
- 「自転車の交通安全教育の充実化に向けた官民連携協議会協議会」における双方の存在感向上、及び、社会的な知名度向上に寄与していく

本企画の具体的内容

- 警察庁と連携し「**青切符制度開始**」に向けた全国自転車交通安全啓発を小泉が中心となって全国 47 都道府県をまわりながら進めていく（2024 年秋から約21ヶ月を想定 = 青切符制度の開始は 2026 年 春予定）
- 「サイクルツーリズム推進事業」の一環として上記交通安全啓発と絡め、各メディア露出や SNS などでの告知を積極的に行い「自転車旅の楽しさ」も PR していく

宣伝方法

- 当会 HP や SNS で随時情報更新
- 各メディアとの連携
- 協賛社とのタイアップ

